

(入札の公告)

北海道立函館美術館告示第9号

次のとおり一般競争入札（以下「入札」という。）を実施する。

令和7年5月29日

北海道立函館美術館長 辻 俊 行

1 入札に付す事項

(1) 契約の目的の名称及び数量

ア 名称 北海道立函館美術館電力需給契約

イ 数量

(ア) 基本料金（契約電力1キロワット当たりの単価） 142キロワット

(イ) 電力量料金（使用電力量1キロワット当たりの単価）

a 平日料金 316,143キロワット時

b 休日料金 185,156キロワット時

(2) 契約の目的の仕様等

契約書（案）による。

(3) 契約期間

令和7年8月1日から令和8年7月31日まで

(4) 履行場所

函館市五稜郭町37番6号 北海道立函館美術館

2 入札に参加する者に必要な資格

北海道立函館美術館電力需給契約に関する資格を有すること。

3 契約条項を示す場所

函館市五稜郭町37番6号 北海道立函館美術館総務課

4 入札執行の場所及び日時

(1) 入札場所 北海道立函館美術館講堂

(2) 入札日時 令和7年6月25日（水）午後2時

（送付による入札の場合は、6月24日（火）正午必着）

(3) 開札場所 (1)に同じ。

(4) 開札日時 (2)に同じ。

5 入札保証金

入札保証金は、免除する。ただし、入札に参加しようとする者が契約を締結しないこととなるおそれがあると認めるときは、入札保証金又はこれに代える担保の納付を求めることがある。

6 契約保証金

契約保証金は、免除する。ただし、契約を締結する者が契約を履行しないこととなるおそれがあると認めるときは、契約保証金又はこれに代える担保の納付を求めることがある。

7 郵便等による入札の可否

認める。なお、送付による入札をした者は開札日時に開札場所にいない限り、再度入札に参加することができない。

8 落札者の決定方法

北海道財務規則（昭和45年北海道規則第30号。以下「財務規則」という。）第151条第1項の規定により、すべての入札単価がそれぞれの予定価格（単価）の範囲内である入札をした者のうち、入札書記載の入札総価額（各入札単価にそれぞれの予定数量を乗じて得た額の合計額）が最低である者を落札者とする。

9 落札者と契約の締結を行わない場合

（1）落札者が暴力団関係事業者等であることにより道が行う公共事業等から除外する措置を講じることとされた場合は、当該落札者とは契約の締結を行わない。

（2）契約書の作成を要するとした契約について、落札決定から契約を締結するまでの間に落札者が指名停止を受けた場合は、契約の締結を行わないことができるものとする。この場合において、落札者は、契約を締結できないことにより生じる損害の賠償を請求することができない。

10 契約書作成の要否

要する。（落札者は、落札決定後速やかに契約の締結方法について、書面で行うか契約内容を記録した電磁的記録で行うかを申し出ること。）

11 その他

（1）開札時において、2に規定する資格を有しない者のした入札、財務規則第154条各号に掲げる入札及びこの公告に定める入札に関する条件に違反した入札は、無効とする。

（2）入札金額等に係る消費税及び地方消費税（以下「消費税等」という。）の取扱い

入札書に記載する金額は、消費税等に係る課税事業者であるか免税事業者であるかを問わず、消費税等を含めた金額（単価）とすること。

（3）契約に関する事務を担当する組織

ア 名 称 北海道立函館美術館総務課

イ 所 在 地 〒040-0001 函館市五稜郭町37番6号

ウ 電話番号 0138-56-6311

（4）前金払はしない。

（5）概算払はしない。

（6）部分払はしない。

（7）初度の入札において、入札者が1人の場合であっても、入札を執行する。

（8）この入札は、取りやめること又は延期することがある。

（9）この入札の執行は、公開する。

（10）契約の相手方が契約の締結後に中小企業信用保険法（昭和25年法律第264号）第3条の4の規定による流動資産担保保険に係る融資保証制度を利用しようとする場合において、この契約に係る支払請求権について契約の相手方が債権譲渡承諾依頼書を道に提出し、道が適当

と認めたときは当該債権譲渡を承諾することができることとしているので、留意すること。

なお、承諾依頼に当たっては、道が指定する様式により依頼すること。

(11) 競争入札心得は、契約条項を示す場所において交付する。

(12) この公告のほか、競争入札心得その他関係法令の規定を承知すること。